

被災地から駒大高生へ「今」伝えたい事 ～忘れない…震災復興3年目を迎えて～

宮城県岩沼市長 井口 経明 氏 講演会

中間試験の最終日である5月24日(土)、本校が今まで震災からの復興を応援してきた「宮城県岩沼市」より現市長が来校されます。市長は現職を震災当時から務めており、「復興のトップランナー」と言われる市の歩みをリードしてきました。この6月を持って市長は次世代へ復興の襷をつなぐためにご退職されます。その前に、今まで市を応援してくれた駒大高生に、震災の事を伝えたいと申し出ていただけました。3年前のあの悪夢を、今一度自分の事として思い出し、市長のお話から感じ、これから自分に何ができるのかを考えましょう。

復興はまだまだ始まったばかりです、
未来を作るのは、これからも一人一人の気持ちです。



2012年8月 復興夏祭りでの様子
チアリーディング部の作った応援旗は、市民ホールに飾られています。



岩沼市を襲った津波の高さは8m
岩沼市では震災当時、市の半分以上が浸水し、死者・行方不明者183名であった

(駒大高校の被災地応援活動 ～私「たち」の幸せを求めて～)

※駒大高校は岩沼市を中心に震災当時からできる事を探し、被災地を応援してきました

- ①使わなくなった柔道着や畳、衣服など支援物資の送付
- ②宮城県石巻工業高校 柔道部との合同合宿 (柔道部)
- ③岩沼市夏・秋祭りでの応援演技 (チアリーディング部)
- ④岩沼市で活動する団体とのスポーツ交流 (チアリーディング部)
- ⑤千年希望の丘 (津波よけの丘公園) 作りのための植樹の手伝い
- ⑥復興支援オリジナル缶バッジの販売 (文化祭) 津波と同じ高さ →
- ⑦岩手県岩泉町の特産品の販売・寄付 (文化祭) の慰霊碑
- ⑧文化祭売上金 (3年生模擬店)・有志寄付金の送付 (2014年5月完成)



～「あの時日本は大変だったけど何もできなかった」で終わらないために～



←津波から町を守るための千年希望の丘作りの手伝い
2013年
6月



←岩沼のチアリーディング団体とのスポーツ交流
2013年
11月

「井口市長 プロフィール」

宮城教育大卒。
 学習塾経営から1971年に25歳で市議に初当選した。
 連続7期の間、市社会福祉協議会会長を7年余り務めた。
 市議会議長を経て98年に市長に初当選し、現在4期目。
 2012年から1年間、全国市長会副会長を務めた。
 5期目への立候補はせず、今期での引退を決めている。

